



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



門信徒会親睦研修旅行
(新潟・長野方面)
平成19年6月1日~2日
国府別院にて

越後の方々の
親鸞聖人への思いが
伺えます
国府別院内陣



しょうぎょうもん
お聖教の文やその解釈を
どれほど覚えたとしても
信心がなければ何の意味もない。

(蓮如上人御一代記聞書より)

門信徒会親睦研修旅行

——新潟・長野方面——

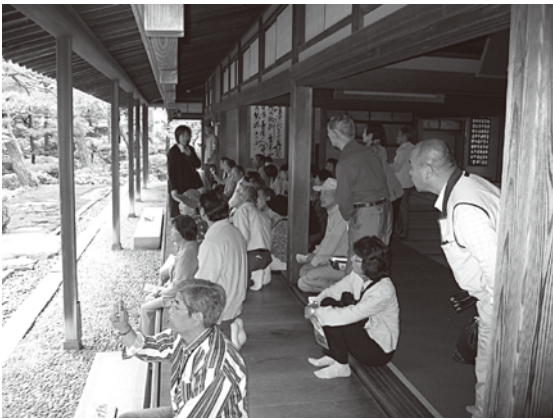
平成十九年六月一日～二日



門信徒 坪内定枝

六月一日(金)～六月二日(土)、一泊二日の門信徒会の研修旅行に姉と参加しました。親鸞聖人様が越後国府へ遠流に処せられましてから八〇〇年をお迎えしました事で、ご上陸の地「居多ヶ浜」や「国府別院」を参拝し聖人様の御苦勞を偲ぶと言う新潟、信州方面への研修旅行でした。お寺の研修旅行と言う事で、さぞかし堅苦しいのではと、初参加の私達はバスに乗る迄緊張と不安で一ぱいでした。しかしその不安は直ぐに消えました。早朝出発したバスの中は、和気藹々と一気に宴会場と成り、盛りあがったのです。

一日目の昼食は原田農園でした。それぞれテーブルに着きご住職様のお話を聞き、サーー食事！とその時皆様が一齐に合掌し「頂きます」と大きな声、長照寺門信徒の会は食事の前後は必ず「頂きます」「御馳走様」と言うのが決まりとの事でした。私は反省しました。



北方文化博物館を見学し、今夜の宿である「ホテル泉慶・華鳳」へ、新潟一のホテルと言われる通り、その施設の立派さに驚きました。夕食は食べきれない程の料理(先付から水菓子迄十五種類も有った)で贅沢させて頂き、食事をしながらの自己紹介で知った事は、皆様の趣味の多さ、その趣味が本格的であると言う事です。その中の一つであるカラオケもプロ並で、聞きいってしまいました。私も前向きに生きなければと又反省です。

二日目、今日の目的である本願寺国府別院へ。総檜造りの本堂、彫刻、天井絵、壁画の彩色のすばらしさ…。合掌していると胸が熱く成り参拝出来た事に感動しました。

親鸞聖人御上陸の地「居多ヶ浜」へ。居多ヶ浜記念堂を見学し、展望台から日本海を眺めながら八〇〇年前の聖人様の上陸を想像しました。信州・長野NHK大河ドラマ「風林火山」の特別企画展(川中島の戦い)へ。川中島古戦場と博物館の見学、何故川中島の戦いが起きたのか? 武田軍団は何故強かったのか? 山本勘助の伝説とか説明を聞き、歴史に弱い私にも良く分かりました。無事に旅行も終わりました。反省したり、勉強出来たり、楽しく過ごす事ができました。

追記

御住職様の割箸談義、中国(ベッキン)インドネシア(バリツ)フランス(パリツ)日本(二本)のネタ頂きました。



新潟・国府別院にご参拝



門信徒 樋口芳枝

昨夜の雨は山では雪だったのか、晴れを約束する朝空に、名残りの薄化粧が美しい富士山に見送られ旅立つ。続け様の公演を終え、緊張がほどけ疲労限界の折、お寺の旅行はまさにグッドタイミング。

このお寺のが、私にとって意味深い。さて研修旅行なので朝一は御住職のご法話から。行先は国府別院、浄土真宗であり、開祖は親鸞聖人様である事と、とくと肝に銘ずべしと。バスは心地よく走り、早起きのためトロリとする眼に一際残雪の美しい谷川連峰が見えて、一日目の目的地「北方文化博物館」着。以前テレビで見、行ってみたいと思っていた豪農の館である。柱のない吊欄間工法、別院の六〇cmもの厚さから彫り出す牡丹の浮彫等、匠の技に驚く一方、貴重な木材にも心が動く。今甚五郎だ、とよく腕自慢を聞かせてくれた父が見たら硫石に「いい仕事しているねー」と云っただろうか。

階上はすっぱり江戸時代。「お主もワルよのうフッフツ」。あの膨大な取立帳や税や売買の台帳の記録に驚く。小作農を締め上げ、甘い汁を吸った悪代官と現代の悪徳政治家がオーバードラップする。

そして月岡温泉一の「華鳳」着。



どこへ行くのかと思わせる広く長いアプローチ、立派な大門に迎えられ、車内に感嘆が洩れる。温泉は、一瞬本当？と疑うエメラルドグリーン。バスクリンを一箱も入れてしまったかの様子が箱根大涌谷どころではない強烈な硫黄の匂いに納得。

夜の宴は御住職の「箸」の話芸を皮切りに一次会、二次会と盛上がり予算無視の無礼講に藤澤君が不安な顔。私も頑張って何十年振りの洒落たカクテルを一杯御馳走様。

翌日、心改めて国府別院参拝。正面同列須弥壇に置かれた親鸞聖人の御像の謂れや、一度他宗に渡った寺を再び戻し、十七代に亘る法灯を導く人・導かれる人、救おうとの御心と徳を慕い心を委ねた人々との絆深く灯し続けて来たお話などを、稲荷賛事様から、お聞きし感慨一しおにお参りする。

そして居多ヶ浜。流罪の人として舟を降り荒磯に衣の裾を濡らされた時の御決意を偲べば、凜として徳を湛えた御姿が彷彿と浮かぶ。僅かな門信徒が、手を合わせお迎えした時自然の葦が葉を向けたと云う「片葉の葦」。目をやれば風にそよぐ、この葦は今も皆葉を海に向けている。

次の目的地へと向かう車窓の風景は走れどくく少しも変わらず、美しい水田にやさしい緑の早苗が続く。私は少しも飽きない「きれいなねー」と繰り返す。体の中に何かいいものが、いっぱいになる様。お寺のは今回もよかった。美し国、瑞穂の国万歳。有難う。



活動報告

平成十九年上期

東京教区仏教壮年研修会

二月十日～十一日

熱海市 後楽園ホテル

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。



初参式

二月二十六日

遠山研介くん

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参りです。※写真は8ページ

春季彼岸会

三月二十一日

住職のお話

祝入園慶讃法要

四月八日

ご入園おめでとう

藤澤月樹ちゃん(保育園)

「命のつながり」「命の尊さ」を伝えていく法要です。



初参式

四月八日

野元綾子ちゃん

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参りです。※写真は8ページ

花まつり「お釈様の誕生日」

四月八日

甘茶も良いけど、花飾りも良かったよ。お釈迦様に自分の成長を報告しましょう。



花見バーベキュー



定例法座・花見バーベキュー

四月八日

材料は良いのだけど、焼き方をもっと研究しましょうね？

※定例法座やってるよ？

くわ入れ式

杉浦さん

一般的に地鎮祭(でも地震は起こるぞ!)
仏教では起工に感謝するものです。

※写真は8ページ

四月十六日

第25回門信徒会 親睦ゴルフコンペ

四月十二日

富士エースゴルフ倶楽部
参加者三十名

優勝 増田祐幸さん

準優勝 長島政信さん

第三位 佐藤純治さん

第5回門信徒会 ボウリング大会

四月二十二日

ジョイランドみしま
参加者十八名

優勝 藤澤さと子さん

準優勝 元盛郁さん

第三位 園田茂光さん



門信徒会親睦 日帰り研修会

四月三十日

伊東方面

絵画・芸術に目が点になり。永六輔氏のお話
に心が洗われて。

※記事・写真は7ページ

くわ入れ式

五月十八日

吉川製作所(新社屋)

一従業員の皆がきつと喜び、益々会社が発展し
ますよう…。※写真は8ページ

門信徒会親睦研修旅行 (二泊二日)

六月一日～二日

新潟・長野方面

ここから関東伝道の旅が始まり、お念佛の種
が蒔かれたのでした。

※記事・写真は2、3ページ

門信徒会総会

五月六日

おかげ様で各議案とも御承認されました。
第五議案・親鸞聖人七百五十回大遠忌の
懇志について

※皆様の納めていただいた、ご懇志を取りま
とめ、西本願寺(本山)へ進納させていただきました。

先日、本山より御懇志の還付金をうけ、活
動費として門信徒会へ入金しました。

門信徒会・総代・世話人より



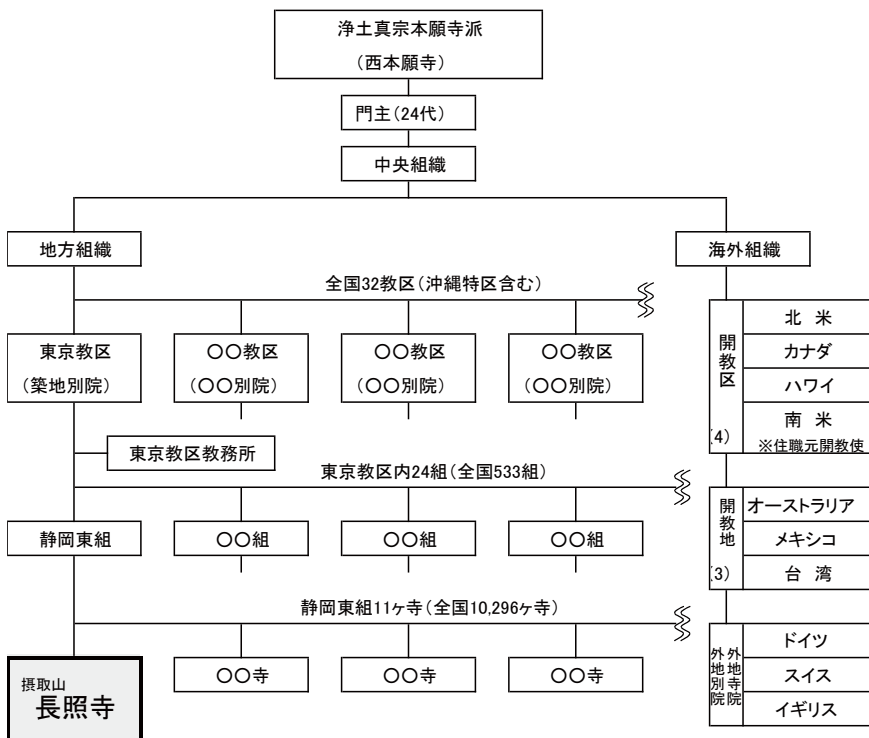
門信徒会総会

今後の活動予定

平成19年	7月22日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境内
	8月13日～15日	合同盆法要(計8回)	本堂
	9月2日～5日	門信徒会親睦海外研修旅行	台湾
	9月23日(日)	秋季彼岸会法要	本堂
	10月15日～16日	第1回静岡東組連続研修会	箱根の里
	10月22日(月)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	未定
	11月18日(日)	報恩講・座談会・茶話会	本堂
	11月29日～30日	第2回静岡東組連続研修会	未定
	12月2日(日)	境内清掃作業	境内
	12月31日(月)	除夜会	本堂
平成20年	1月4日(金)	修正会及び新年会	本堂
	1月12日～13日	ご正忌報恩講	西本願寺
	1月21日～22日	第3回静岡東組連続研修会	築地別院
	2月10日(日)	寺報(第19号)発行	
	2月16日～17日	東京教区仏教壮年研修会	未定
	3月20日(木)	春季彼岸会法要	本堂

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)



私達のお寺(長照寺)はどこの?
 心の拠り所としてお参りさせて戴く私達のお寺はどこでしょう。お寺は昔、現在の市役所とか役場の仕事をしていました。従いまして生活に欠かせない公の場を提供していました。
 現在は、その目的が変化して心の中を充たして下さる場として、その役目を果たしています。

参加して良かった

門信徒会親睦日帰り研修会

——伊東方面——

平成十九年四月三十日

門信徒 八木橋 幹 夫



「おはようございます」研修旅行に参加する二十余人の方々の笑顔と、はなむら声々。

初夏を思わせるような日和の四月三十日、楽しさをいっぱい醸し出しながら、日帰り研修旅行に出発しました。

研修旅行のメニューは、伊東市の伊豆一碧湖美術館での絵画鑑賞と、同市の宝専寺での遊園会への参加と、永 六輔氏の講演の拝聴です。

新緑に囲まれた一碧湖の湖畔の景勝を、望むように建つ、伊豆一碧湖美術館では、現代フランス画壇の作家ジョンピエール・カシニョールの作品を鑑賞しました。どの作品も軽快な動きと、明るい色彩でした。それらを通して、作品の美しさを、自分なりに味わうことができました。

昼は、パリの雰囲気のレストランといわれている、館内のデザート・テラスで、湖を眺望しながら、ゆったりと食事の時間を過ごすことができました。



遊園会の会場となる宝専寺の庭園は、山水画のような風情でした。芝の緑は、青空のもとで、目に染み入るように明るく、来た者を迎えているかのように感じられました。

さわやかな風が撫で渡る青青の芝に座して、永 六輔氏の講演を聞くことができました。人間味のある上品なしゃれと笑い、軽快な語りぐちに引き込まれ、聞き入りました。



イラクでの唯一神イスラム教信徒同士争いの悲しむべき現状。ブツダの悟りと教え、仏教徒は天国ではないこと、民間伝承の刺し子の美しさ、そして、農耕行事に伴う歌舞から起こった田楽のことなど、バラエティーに富む話題が、万華鏡のように、次から次へと、わかりやすい話し言葉で話されました。笑いのうちに、時の経つのも忘れ、講演時間が、短くさえ感じられました。

講演の後、話に出た田楽の舞楽が、田楽保存会のみなさんによって、演じられました。平安中期から行われた、田植えのときの民間舞楽が、後に遊芸化し、室町時代には盛んに行われ、專業田楽法師も現れたと、伝えられているそうです。

「田楽は、舞楽とは知らなかったよ。」
「豆腐などを、串に刺して焼いた料理だとばかり思っていました。」
そんな、ささやきの声も耳にしました。私も、まったく、そのような思いでした。

田楽を演じたのは、保存会に所属している、小中学校と高校の皆さんでした。太鼓や笛の奏でる曲に合わせ、統制のとれた機敏な動きの舞に、感動の拍手が、しばらく絶えませんでした。

今回の日帰り研修旅行は、私にとって、知的収穫の多かった、有意義な一日でした。



平成19年度上期の行事



初参式「野元綾子ちゃん」(平成19年4月8日)



初参式「遠山研介くん」(平成19年2月26日)



くわ入れ式「吉川製作所」(平成19年5月18日)



くわ入れ式「杉浦さん」(平成19年4月16日)

編集部より

門信徒会員より原稿を随時募集致します。
400字前後の文章および、写真・イラストも歓迎致します。

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話/当山住職

朝7時45分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1～5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成20年2月10日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人 = 長島・菊沢・斉藤・園田